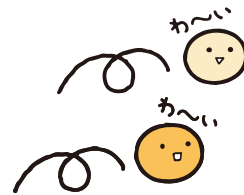


クリーン農業クイズに挑戦!!

- 私たちの住む北海道には全国の4分の1の農地があり、たくさんの農産物を作っています。北海道は日本の食料を支えるとても重要な役割を果たしています。
- その北海道では、今から約30年前(平成3年)に、全国に先駆けて環境との調和に配慮した農業(クリーン農業)を提唱し、取り組んでいます。
- このクリーン農業についてもっと知ってもらいたい! だからクイズにしてみました!!



北海道クリーン農業イメージキャラクター
ハタケダ博士&くりーんだね



わ〜い
クイズだ、
クイズだ!

<問題1> わたしは誰でしょうか?



- ① ハタケダ博士
- ② くりーんだね
- ③ こげた食パン



<問題2> 北海道では、作物がよく育つ土を作り、作物を育てるときに使う肥料や農薬をなるべく少なくするなど、環境にやさしい農業に取り組んでいます。この農業を何と言うのでしょうか?



- ① デリシャス農業
- ② クリーン農業
- ③ フレンドリー農業



<問題3> 肥料や農薬の使う量を減らすなど、厳しい基準で作られた農産物に、目印となるマークをつける。北海道生まれの農産物表示制度を何と言うのでしょうか?



- ① グリン グリン 表示制度
- ② くりん くりん 表示制度
- ③ YES! clean(イエスクリーン) 表示制度



解説する のダ!



- ハタケダ博士は、クリーン農業を広めるハタケダ大学の博士で、畑の形をした四角い顔をし、北海道の形をした帽子をかぶっています。くりーんだねは、ハタケダ大学に通うクリーン農業の種たちで、どんな農産物に育つかは自分たちも知りません。
 - 堆肥等で健全な土づくりをし、化学肥料や化学合成農薬を必要最小限にとどめるなど、環境との調和に配慮したクリーン農業の取組により、地球温暖化ガスの発生が少なくなることや、害虫を食べる天敵生物が増えることが農業試験場の研究で明らかになっています。(学校給食ごはん vol.14、15、19の記事も参照)
 - YES! clean表示制度は平成12年(2000年)にでき、農家のグループによりクリーン農産物が作られています。(学校給食ごはん vol.18の記事も参照)札幌市の学校給食の食材にも使われています。(学校給食ごはん vol.16の記事も参照)
- *学校給食ごはん掲載のクリーン農業に関する過去の記事については、北海道クリーン農業推進協議会のホームページで確認できますので、ご参照ください。

北海道クリーン農業推進協議会



北海道安心ラベル

yesclean

検索

YES! cleanマークは
北海道生まれ。
クリーン農産物の目印です。
お店でもさがしてね!

